



碧南ロータリークラブ週報

第2990回例会 令和3年9月15日(水)

- 会長 新美 雅浩
- 幹事 栗津 康之
- 会場監督(SAA) 岡本 耕也

2021-2022 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

- 会報委員 石川鋼勇・鈴木 洋・藤関孝典・小林 尚

●本日のお弁当

大正館

●本日のお客様

西三河分区ガバナー補佐 伊藤正幸様 (碧南RC)
 " 分区幹事 黒田泰弘様 (碧南RC)
 第2760地区 地区副幹事 成瀬介宣様 (安城RC)

会 長 挨 拶

皆さん、改めまして、こんにちは。本日は9年ぶりに我がクラブから輩出しておりますガバナー補佐の伊藤正幸様にご訪問いただきました。伊藤様におかれましては、ご自身の会長時代の後半がコロナ禍でありまして、当時は例会を止めざるを得ないという状況でございましたけれども、本日は Zoom を使った例会を開催しております。正面の画像には40名弱の会員の方々が見えておりまして、この会場には10名程の会員の方々がおりますので、総数で50名近くになっておりまして、良い出席率じゃないかなあと考えております。西三河分区の協議会では、取り消しをするというようなご案内が流れておりますけれども、高浜 RC と碧南 RC については Zoom を使った例会を続けていくという形で調整をさせていただいておりますので、本日はよろしくお願い致します。



新美雅浩会長

9月はRIの重点分野の1つであります「基本的教育と識字率向上」月間という形になっております。特に識字率の向上については、RIが1985年に識字率の向上に取り組むことが重要だと宣言し、初めてロータリーが取り上げられたというふうに聞いております。ただ、私たちロータリアンのほとんどが識字率については、関心を持っていないのが現状ではないかなあというふうに思います。今日はRIがなぜ識字率の向上に取り組む必要があったのか、また、

日本のロータリアンがそれを踏まえて何ができるのかなあということ調べて参りましたので、この機会に取り上げさせていただきたいと思います。

日常生活で読み書きができるということを識字と言われておりますけれども、年齢は15歳が基準となっております。15歳以上の人口に占める読み書きができる人の割合を識字率と言われておりまして、読み書きができない方々が全世界で約25%いらっしゃいます。特にアフガニスタン、バングラデシュ、パキスタンが識字率が低いということになっております。因みに日本の識字率は99.8%なので、識字率の向上について関心がないということではないかと思えます。

ロータリーが目指す識字率の向上の目的ですけれども、人々が幸福に暮らせる為の手段として読み書きの能力が大変重要であり、地域の生活水準に直結しているということから取り上げられまして、その結果の数値が先々はっきりと表れる社会奉仕・社会貢献活動であるというふうに考えられております。そんな中で日本のロータリアンが何ができるかということですが、よく言われているのが国際的な社会奉仕活動ということで、グローバル補助金を使って支援先のロータリークラブと連携しながら、その支援先の生活水準を高める為にトイレや水飲み場を作ったり、識字率の向上の為に学校を建設したりするというプロジェクトが毎年多国で行われているのが実状ではないかと思っております。ただ、大半は単に物を寄贈するプロジェクトになっているのではないかと思っております。単に物の寄贈で終わってしまうのではなくて、例えば、物を寄贈したらその物の作り方を教えるだとか、学校を建設したら現地の指導者を育てていくといったことがロータリーの基本にあるのではないかとこのように思います。

ロータリーが識字率の向上に対して、どのような貢献ができるのかをもう一度考える機会になればなあとということで、本日は取り上げさせていただきました。以上で本日の会長挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 西尾一色 RC さんより 2022-2023 年度西三河分区ガバナー補佐・分区幹事就任のご挨拶が届いております。
- ・ 9月22日(水)は定款第7条第1節(d)(1)による休会になります。
- ・ 9月29日(水)はZoom例会で、ゼロバッジをご着用いただきまして、大事な行事でありますガバナー公式訪問を高浜 RC さんと合同で開催致します。どうぞよろしくお願い致します。
- ・ 本日、地区大会のご案内ということで、臨時書面理事会にて皆様のご承認を得ましたので、全員登録ということにさせていただきまして、当日の出欠席について皆様に郵送させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。



栗津康之幹事

委員会報告

<ニコボックス>

西三河分区ガバナー補佐 伊藤正幸様、分区幹事 黒田泰弘様

本日ガバナー補佐訪問にてお世話になりますが、よろしくお願い致します。

第 2760 地区 地区副幹事 成瀬介宣様 たくさん頂戴しました。

新美 雅浩君 } 伊藤ガバナー補佐、成瀬地区副幹事、黒田分区幹事のご来場を心より歓迎
森田 雅也君 } 申し上げます。
栗津 康之君 }
森田 雅也君 } 間瀬さんにお手数をおかけしました。ありがとうございました。

クラブ協議会

「ガバナー補佐訪問」

西三河分区ガバナー補佐 伊藤正幸様



伊藤正幸様

それでは、始めさせていただきます。西三河分区ガバナー補佐の伊藤正幸でございます。本日は貴重なお時間を賜りまして、卓話をさせていただくということでございます。西三河分区は9クラブございますけれども、残り3クラブになっておりまして、杳名俊裕ガバナーの補佐としてお邪魔をさせていただいております。ガバナー公式訪問は9月29日ということでございます。ただ、コロナ禍ということで、変則的な開催でございますけれども、次のステージにステップアップするきっかけになりまして、成長、発展することができるというロータリーの可能性に繋がることかと存じております。ご苦勞やお手数をお掛けしますけれども、どうぞよろしくお願い致します。

1995-96年度の永坂隆一会長の時に碧南 RC から分区代理が輩出をされております。当時、石川八郎右衛門分区代理が分区代理の務めを要約して3つあると仰っておられました。1つ目は会長、幹事に会長エレクトも同席していただきまして、懇談をしてクラブの実態について理解をすることです。本日、11時半より新美会長、森田副会長、長田エレクト、栗津幹事、清澤副幹事から改めて碧南 RC の特徴を整理して、お話を伺いました。これはガバナー補佐訪問報告書にまとめて、ガバナーにお知らせする務めでございます。本日の懇談につきまして、掻い摘んでご紹介させていただきたいと思っております。碧南 RC は1959（昭和34）年に刈谷 RC のスポンサーにより設立をされまして、本年度63周年となる輝かしい歴史と伝統がございます。新美会長の方針の「不易流行」は、正に職業奉仕とクラブ奉仕によって、会員一人一人の研鑽を通じての人格形成がクラブの発展に繋がり、地域社会の発展に貢献するというロータリー精神の原点とも言うべき「決議23-34」に忠実でありました。中でも決議の第6条のg項目でございますけれども、「クラブがひと固まりとなって行動するだけで足りるような事業よりも、広く全てのロータリアンが個々の力を動員するものの方がロータリーの精神により適っていると言える。それは、ロータリークラブでの綱領に基づく諸活動は、ロータリークラブの会員に奉仕の訓練を施すために考えられた、言わば研究室の実験としてのみこれを見

るべきであるからである。」をお守りになられておられまして、職業奉仕の実践を第一とするというお考えに基づいた会長方針は、正に碧南 RC の特徴を表しておられると存じる次第でございます。

役割の 2 つ目でございますが、ガバナーのお考えをしっかりとお伝えするという務めを果たさせていただきたいと存じます。今年度、RI 会長のシェカール・メータ氏はカル Катター・マハナガル RC 所属でございます。不動産開発会社「Skyline Group」の会長で、会計士でもあります。また、カナダを本拠とする「Operation Eyesight Universal (India)」のディレクターも務めておられます。1984 年にロータリーに入会されておられまして、RI 理事、複数の委員会の委員および委員長、ゾーンコーディネーター、研修リーダー、ロータリー財団専門家グループメンバー、地区ガバナーを歴任した他、インド・ロータリー財団の会長を務めておられます。超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状、特別功労賞を受賞されておりまして、ラシ夫人と共にメジャードナー、遺贈友の会の会員として財団の支援をしておられます。そして、シェカール・メータ RI 会長は国際協議会の講演の中で、RI 会長としてロータリーに対して大きな夢を持っていると述べられました。その夢は「会員を増やし、世界に大きなインパクトもたらす」ということでございます。過去 20 年以上に亘りまして、ロータリーの会員数は 120 万人のままでございます。夢を実現する為に 2022 年 7 月 1 日までに会員数を 130 万人にするということで、「each one, bring one」、つまり今後、各ロータリアンが新会員 1 人を入会させるようお願いされておられます。

シェカール・メータ RI 会長のロータリーでの目標は、「もっと行動し、もっと成長しよう」でございます。「もっと行動し」とは、より大きなインパクトのある奉仕プロジェクトの実行を意味しまして、「もっと成長しよう」とは、会員を増やし、参加者基盤を広げることを意味しておられます。会長自身が奉仕プロジェクトへの参加を通じて、人として成長したことに触れ、持続可能なインパクトをもたらす奉仕プロジェクトへの参加を呼び掛けておられます。シェカール・メータ RI 会長は奉仕をする時、誰かの人生だけではなく、自分の人生をも豊かにする。そして、人々の世話をし、奉仕することこそ人生の最高の生き方であると述べられまして、奉仕プロジェクトの積極的な立ち上げと参加を呼び掛けておられます。ということで、今年度の RI のテーマを「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」とされました。

この RI 会長のテーマを受けまして、今年度、第 2760 地区の沓名ガバナーは「チェンジロータリー 新時代への成長に！」～コロナゼロ・カーボンゼロ支援～を地区方針に掲げられました。そして、ロータリーのビジョン声明をお示し致しました。私たちロータリアンは過去を称え、未来を展望します。ビジョン声明を支える一員として私たちは等しく、世界を変える行動人となります。世界を変える為の計画を率先して考える必要性を提言し、同じく重要なこととして、世界を変える計画に基づいて、人々の力を結集して行動を起こします。4 つの優先事項に基づきまして、ロータリアンお一人お一人ができることを考えていただき、アクションを起こしていただいている訳でございます。沓名ガバナーの掲げる「チェンジロータリー」でございますが、2015 年の RI 理事会の同意事項にもございます。ご承知の通り、進化論の「最も強いものでもなく、最も優れたものでもなく、変化に対応できるものが生き残る」ということにある通り、あるべき姿を思い描き、何故そうではないのかを考えることが求められ

ているということでございます。今回、新美会長におかれましては「不易流行」を掲げられ、正にコロナ禍でのロータリー活動にどのようにコミットメントしていくか、ロータリアンとして率先してリーダーシップを発揮されることについて深くお考えになっておられることと拝察する訳でございます。その上でクラブの皆様には、

- ・よりインパクトのある事業
- ・より地域に貢献する事業
- ・世界の平和に貢献する事業
- ・青少年の健全育成支援

ということで、世界に貢献する事業を計画していただきたいという沓名ガバナーの方針でございます。そして、地区行動方針は、

- ① クラブの発展なくしてロータリーの発展なし
- ② チェンジロータリー
- ③ 会員の基盤を広げよう
- ④ ロータリー奉仕デー
- ⑤ コロナゼロ・カーボンゼロ支援をしよう
- ⑥ ロータリアンとしての誇りを高めよう
- ⑦ ロータリーファミリーとの連携を強化しよう
- ⑧ ロータリー賞、ガバナー特別賞へ挑戦しよう
- ⑨ 国際大会へ参加しよう（アメリカ・ヒューストン）

ということで、9つ示されておられますので、よろしくお願い申し上げます。

地区大会は名古屋錦 RC がホストで、11月6日（土）に名鉄グランドホテル、7日（日）に名古屋国際会議場で開催をされます。碧南 RC は全員登録ということで、理事会で承認をいただいたということでございます。どうもありがとうございます。

役割の3つ目は IM の開催ということでございます。今年度は新美年度の通常運営の他に会員の皆様には一人二役で、IM とガバナー補佐杯親睦ゴルフ大会の開催の成功の為に尽力をいただいているところでございますが、コロナデルタ株という更に困難な状況に立ち向かい、準備を進めていただいておりますことを心より感謝を申し上げる次第でございます。

今回はガバナーの行動方針を中心にお話をさせていただきましたが、私の力不足でガバナーのお考えをしっかりとお伝えできかねたと存じます。どうか皆様のロータリーの友情でご容赦をいただきたいと存じます。ガバナーのお考えをより知っていただく為にガバナー月信、地区ホームページ、地区アプリをご活用いただければ幸いに存じます。ポストコロナに向かひまして、力強く歩みを進め、コロナゼロ・カーボンゼロ実践の為に、お一人お一人の会員が今年度の RI テーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」を実践していただきまして、自分自身が生き生きと誇り高く輝きを放っていただきたいと存じます。皆様のご健勝とご活躍を心よりご祈念を申し上げまして、ガバナー補佐訪問の卓話とさせていただきます。

本日はどうもありがとうございました。

次回例会案内

令和3年10月6日（水）

クラブフォーラム「第2760地区米山奨学事業について」

地区米山記念奨学委員会 委員 池田直樹氏（刈谷RC）